

アイテラス

—基本・連棟—

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①柱セット

名 称	員 数	
	1本入	2本入
柱		1
雨樋柱	1	1
樋カバー	1	1
柱－桁連結金具	1	2
桁ジョイント	1	2
桁裏板	1	2
アンカー棒	1	2
柱－桁連結金具取付ネジ M4×14サラ	4	8
桁ジョイント取付ネジ M4×10トラス	2	4
柱－桁取付ボルト M8×16六角ボルト	2	4

②妻垂木セット

名 称	員 数		
	6尺	9尺	10尺
妻垂木	2	2	2
妻垂木カバー	2	2	2
中骨	3	5	7
垂木・垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ（ワッシャー付）	26	32	34

③屋根材セット

名 称	員 数					
	2 枚 入			3 枚 入		
	6尺	9尺	10尺	6尺	9尺	10尺
屋根材	2	2	2	3	3	3

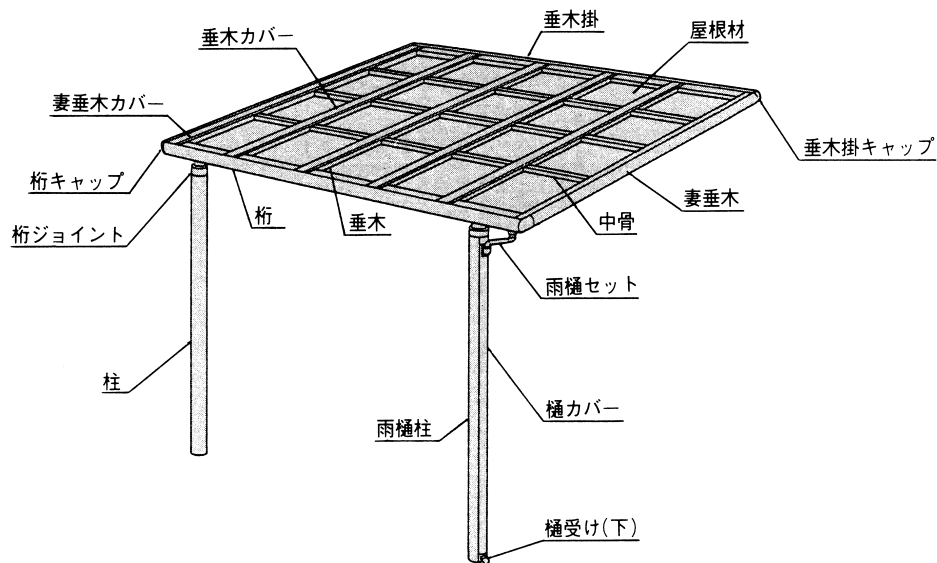
④垂木セット

名 称	員 数					
	2 本 入			3 本 入		
	6尺	9尺	10尺	6尺	9尺	10尺
垂木	2	2	2	3	3	3
垂木カバー	2	2	2	3	3	3
中骨	6	10	14	9	15	21
垂木・垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ（ワッシャー付）	26	32	34	39	48	51

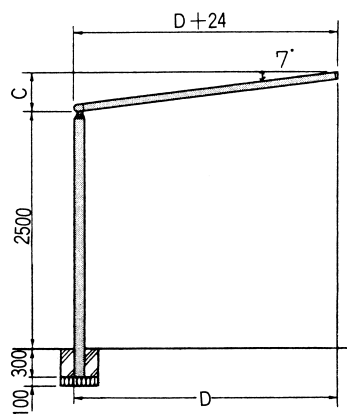
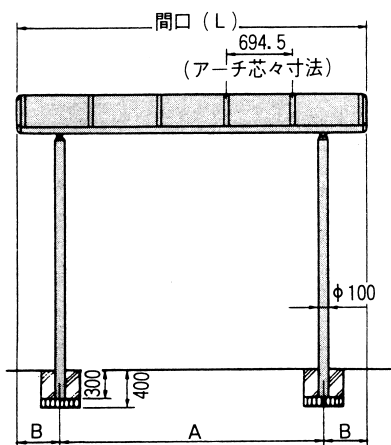
⑤桁セット

名 称	員 数					
	標 準				連 棟	
	1.5間	2間	2.5間	3間	1.5間	2間
桁	1	1	1	1	1	1
垂木掛	1	1	1	1	1	1
桁キャップ（R，L）	各1	各1	各1	各1		
垂木掛キャップ（R，L）	各1	各1	各1	各1		
垂木掛ビート材	4	5	7	8	4	5
コーキング剤	1	1	1	1	1	1
丸樋	1	1	1	1	1	1
雨樋 セッ ト	アタッチメント	1	1	1	1	1
	アタッチメントジョイナー	1	1	1	1	1
	エルボ	3	3	3	3	3
	樋受け（上）	1	1	1	1	1
	樋受け（下）	1	1	1	1	1
	雨樋キャップA	1	1	1	1	1
	雨樋キャップB	1	1	1	1	1
	止水パッキン	2	2	2	2	2
	アタッチメント・樋受け取付ネジ φ4×10トラス	9	9	9	9	5
垂木掛取付コーチスクリュー φ6×70六角		4	5	7	8	4
M6用平座金		4	5	7	8	4

1. 姿図及び各部名称

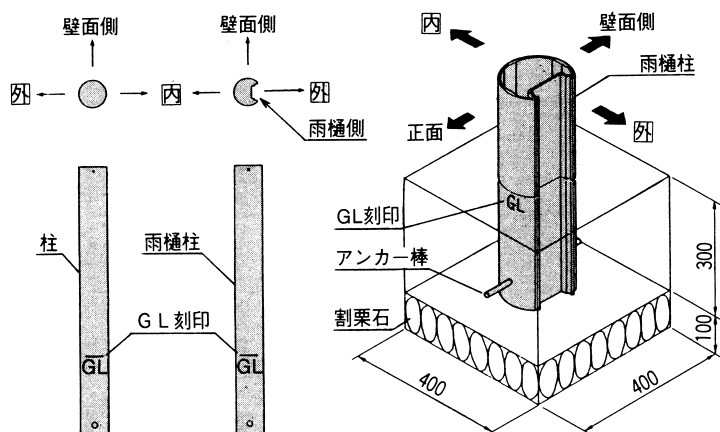


2. 基本寸法及び基礎施工



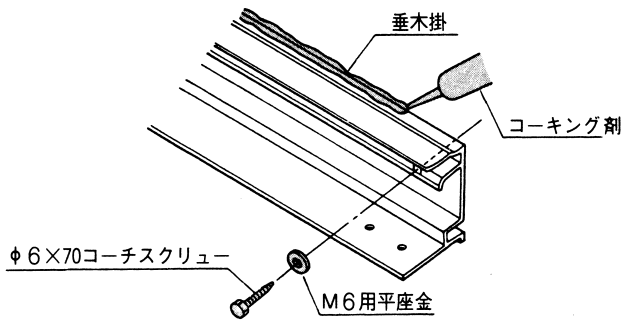
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
L (mm)	2890	3585	4974	5668
A (mm)	2020	2510	2980	3400
B (mm)	435	537.5	997	1134

	6尺	9尺	10尺
D (mm)	1850	2750	3050
C (mm)	301	411	448

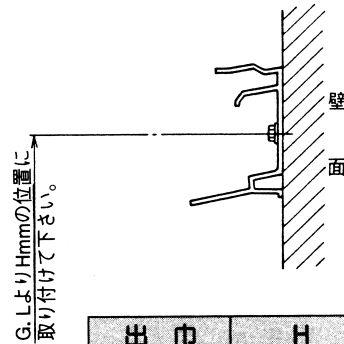


- コンクリート施工は、骨組完了後に行い、硬化後屋根材を組込んで下さい。
 - 柱は、標準位置（基本寸法図参照）から±100mm以内に施工して下さい。ただし3.0間のA寸法は、最大3400mm、最小3200mmで施工して下さい。
 - 雨樋柱は、雨樋側が、内になるように施工して下さい。
 - アンカー棒（φ9×200）は、必ず施工して下さい。
- ※雨樋柱は、左右どちらに施工しても、構いません。

3. 垂木掛の取付け

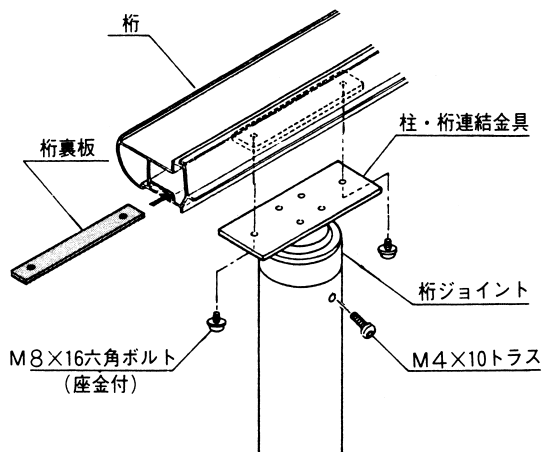


- ① 垂木掛を「φ6×70 コーチスクリュー」「M6 用平座金」で、壁面に固定して下さい。
- ② 垂木掛と壁面のすきまを図のようにコーキングでうめて下さい。
注) コーキングが不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意下さい。



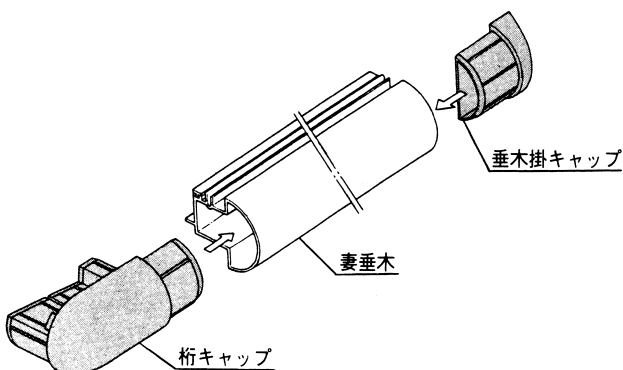
出 巾	H
6 尺	2762
9 尺	2872
10 尺	2909

4. 柱と桁の組付け

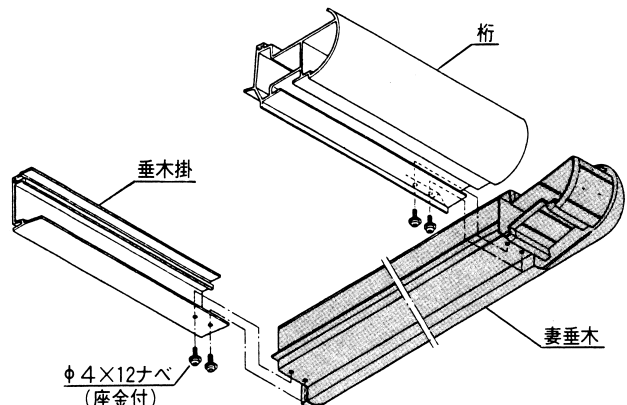


- ① 柱に桁ジョイントをはめ「M4×10 トラス」で固定して下さい。
- ② 桁に「桁裏板」を入れ「M8×16 六角ボルト」で固定して下さい。

5. 妻垂木の取付け

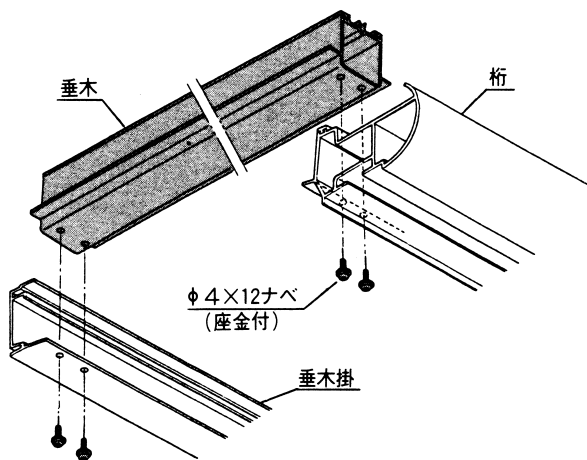


- ① 桁キャップ、垂木掛キャップを妻垂木に取付けて下さい。



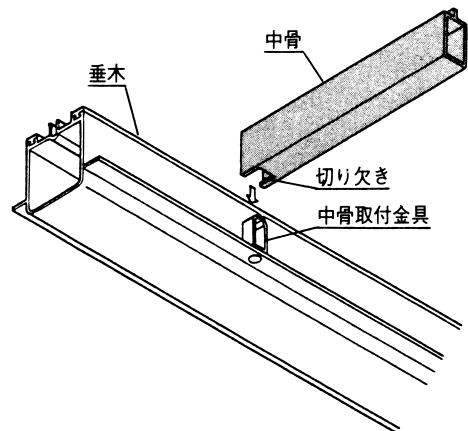
- ② 妻垂木を桁、垂木掛に「φ4×12 ナベ」で取付けて下さい。

6. 垂木の取付け



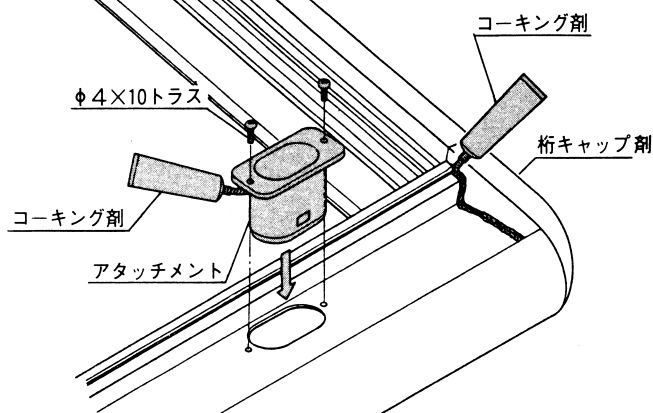
- 垂木を桁、垂木掛に「φ4×12ナベ」で取付けて下さい。

7. 中骨の取付け



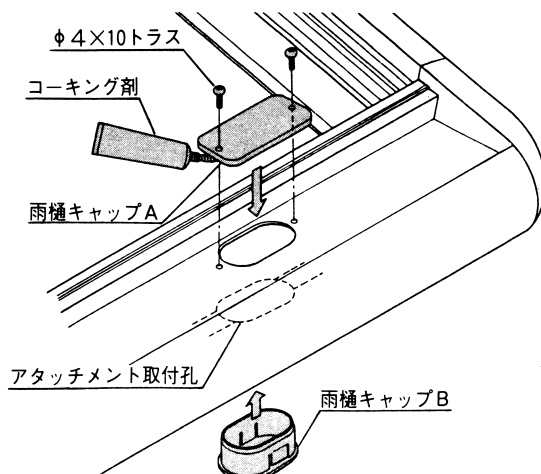
- 中骨は、垂木に予め取付けてある金具を中骨の切り欠き部に差し込むようにして、取付けて下さい。

8. アタッチメントの取付け



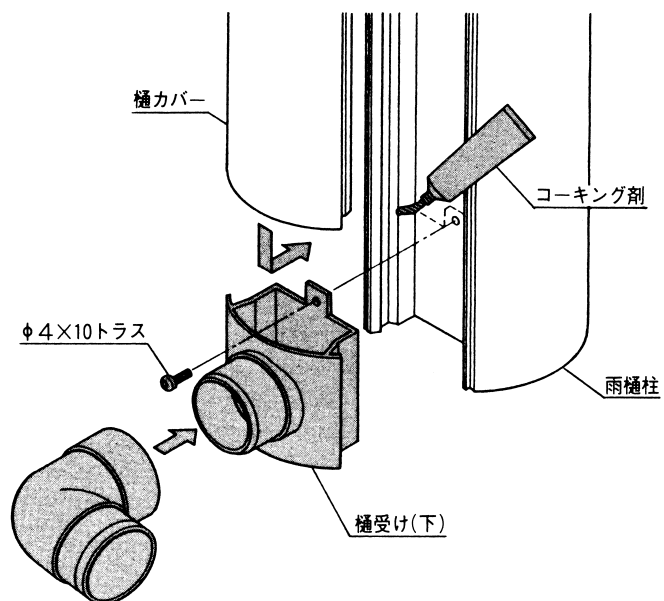
- ① アタッチメントを「φ4×10トラス」で取付け、アタッチメントの周囲にコーキングを施して下さい。
 - ② 桁キャップと桁の接合部にもコーキングを施して下さい。
- 注) コーキングが、不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意下さい。
- 注) 屋根材を先に組付けますと、アタッチメントの取付けが、困難となりますので、御注意下さい。

9. 雨樋キャップの取付け



- ① 雨樋キャップAを「φ4×10トラス」で取付け、周囲にコーキングを施して下さい。
 - ② 雨樋キャップBを桁の下側から、アタッチメント取付孔に取付けて下さい。
- 注) コーキングが、不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意下さい。
- 注) 屋根材を先に組付けますと、雨樋キャップの取付けが、困難となりますので、御注意下さい。

10. 樋受け（下）の取付け

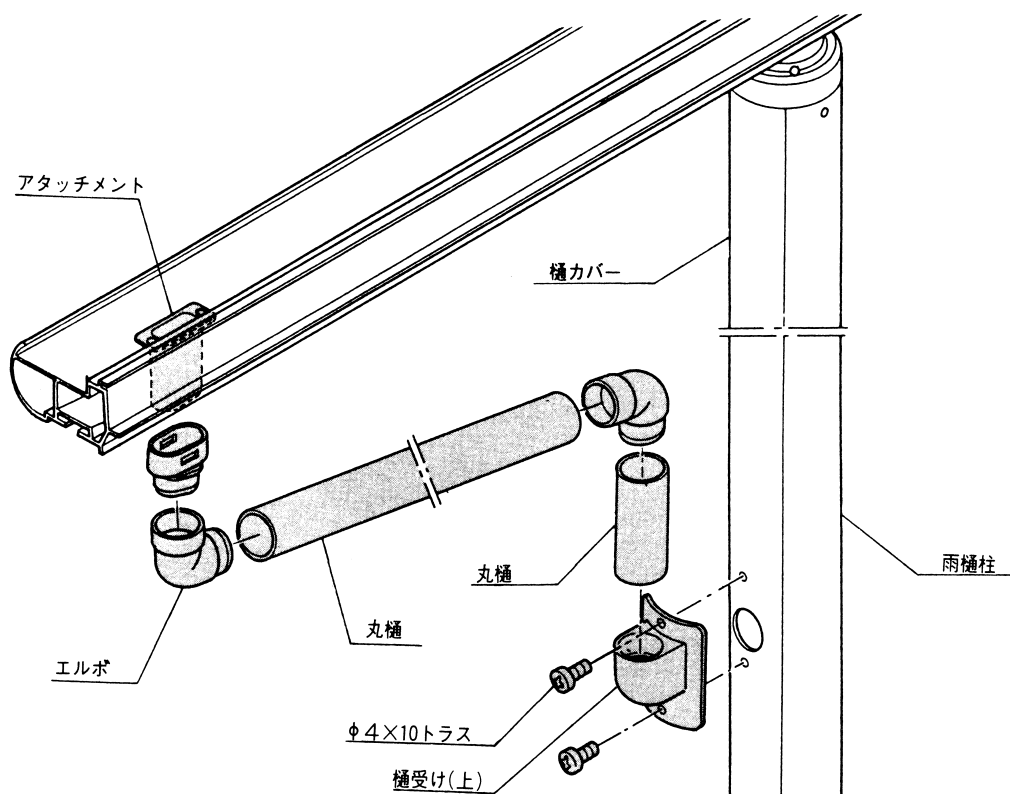


① 樋受け（下）を「φ4×10トラス」で取付け、雨樋柱との接合部にコーキングを施して下さい。

② 樋カバーを雨樋柱に取付けて下さい。

注) コーキングが不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意下さい。

11. 雨樋セットの取付け

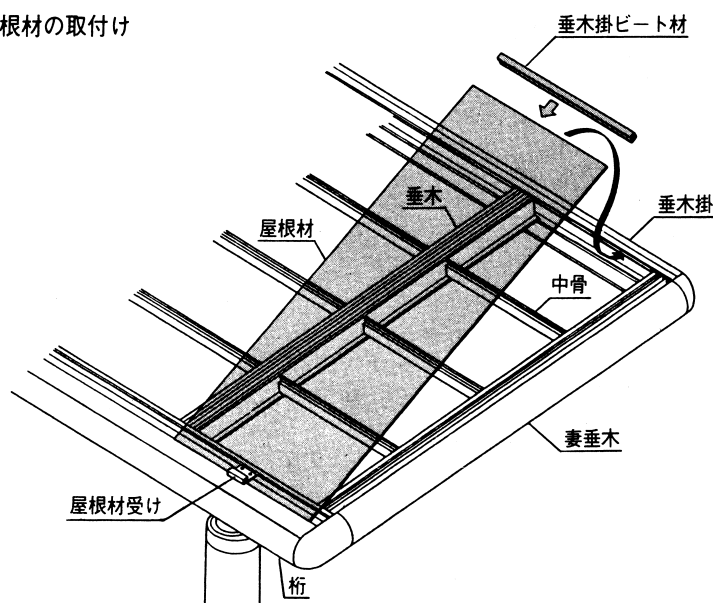


① 雨樋セットを図の様に取付けて下さい。
丸樋は、現場寸法に合わせて切断し、取付けて下さい。

② 各接合部を接着材で固定して下さい。

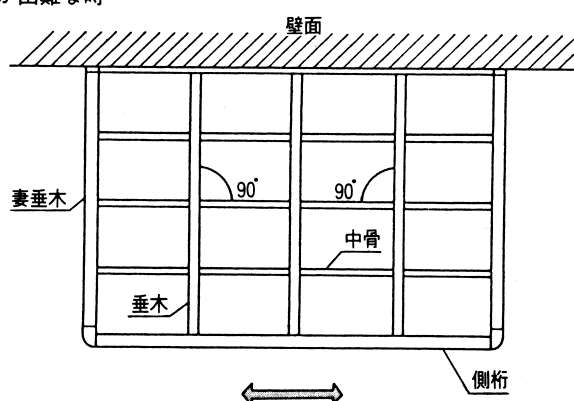
12. 屋根材の取付け

① 屋根材の取付け



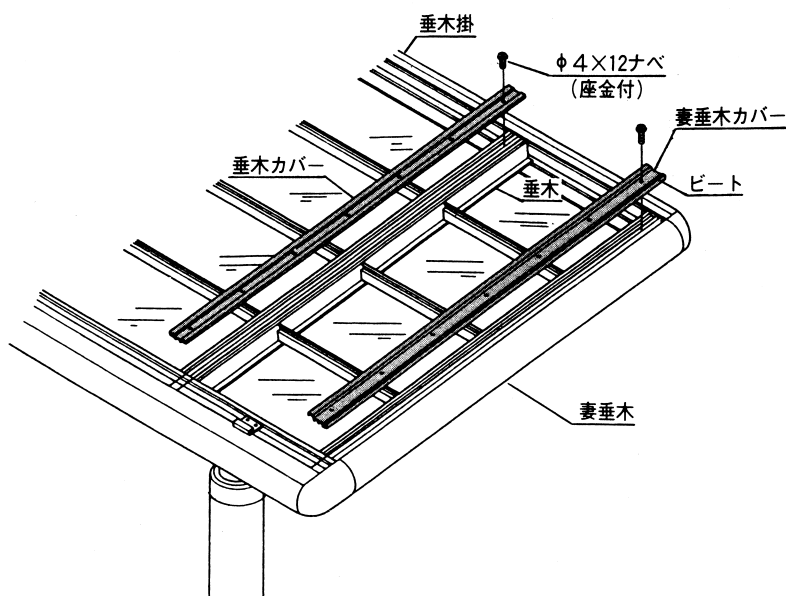
- 屋根材をはめこむ前に垂木掛ビート材を屋根材に組み付けて下さい。
 - 屋根材を屋根材受けに差し込み、垂木掛のみぞに押し込んで下さい。
- 注) 屋根材のマスキングシートは、必ずおはがし下さい。
- 注) 屋根材は、左右の、のみ込み代が、等しくなるように必ず中央にセットして下さい。
- 注) 別売の「竿掛セット」を設置する場合は、屋根材を取付ける前に垂木に現場穴明け加工を行って下さい。

② 取付けが困難な時



- 垂木と中骨が直角かどうか調べ、直角が出ていない場合は、桁を固定しているボルトを軽くゆるめ、直角になるように桁を左右に移動して下さい。

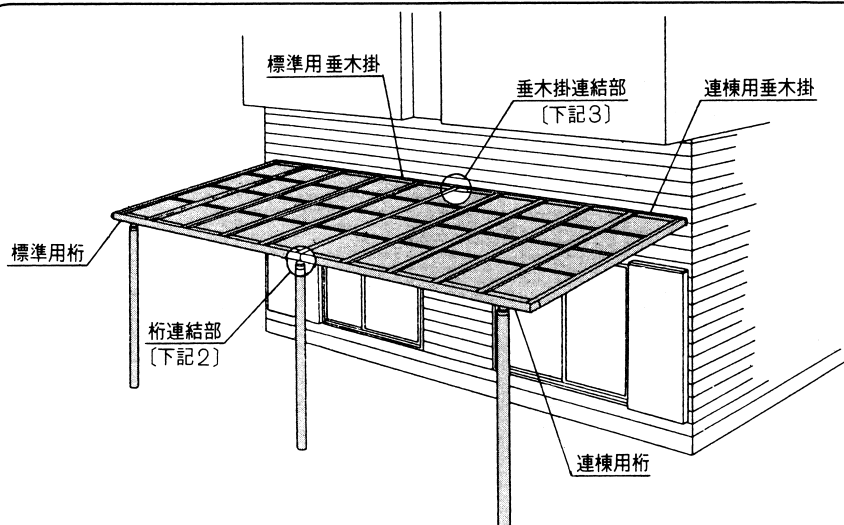
13. 妻垂木カバー、垂木カバーの取付け



- 垂木カバーは、垂木掛に近い穴から、下に順番に「φ4×12ナベ」で取付けて下さい。
- 注) 垂木カバーと妻垂木カバーは、形状が異なりますので、よく確認してから、取付けて下さい。(妻垂木カバーには、ビート材が付いています。)

一連棟一

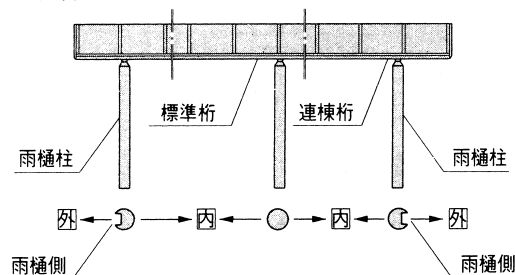
連棟は必ず標準タイプの右側に取り付けて下さい。



●連棟の施工は標準タイプを基本にして外観で必ず右側に連棟桁、連棟垂木掛を取付けて下さい。

1.基本寸法

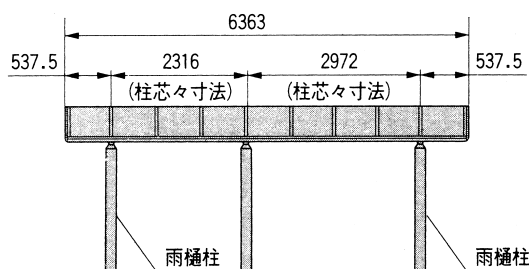
●柱の取付



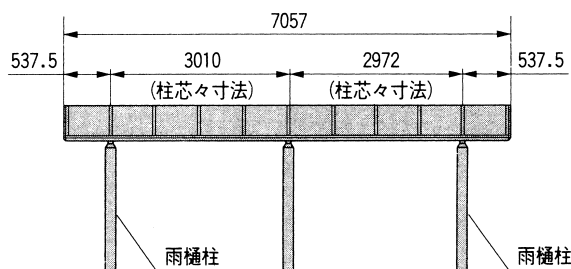
●雨樋柱は、両サイドに施工し、必ず雨樋側が内になるように、取付けて下さい。

(4.5間、5.0間の場合も、雨樋柱が両端になるよう施工して下さい。)

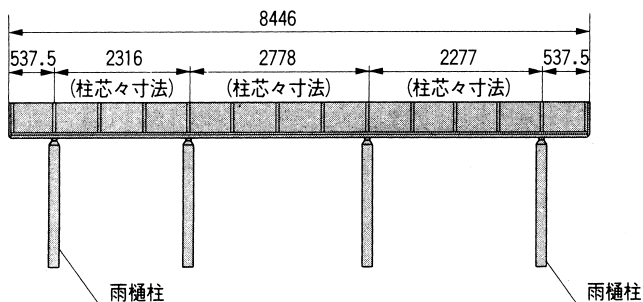
■3.5間＝標1.5間＋連2.0間



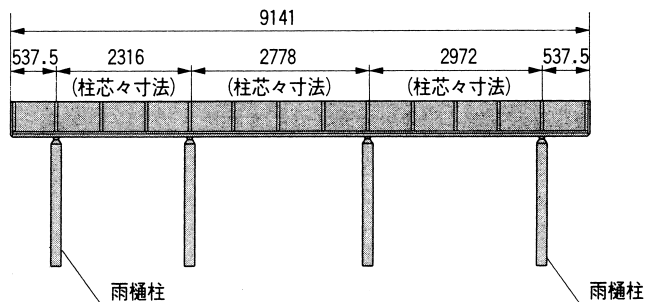
■4.0間＝標2.0間＋連2.0間



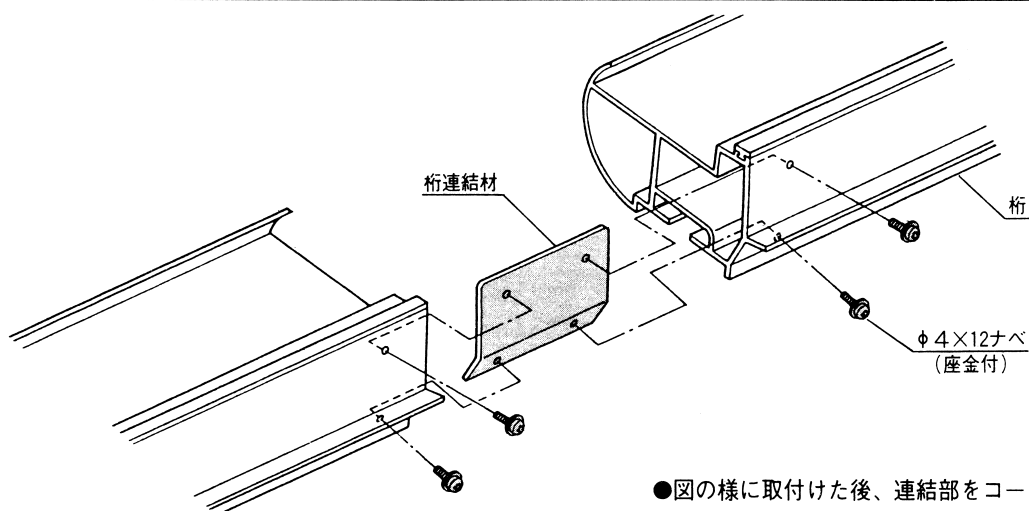
■4.5間＝標1.5間＋連1.5間＋連1.5間



■5.0間＝標1.5間＋連1.5間＋連2.0間

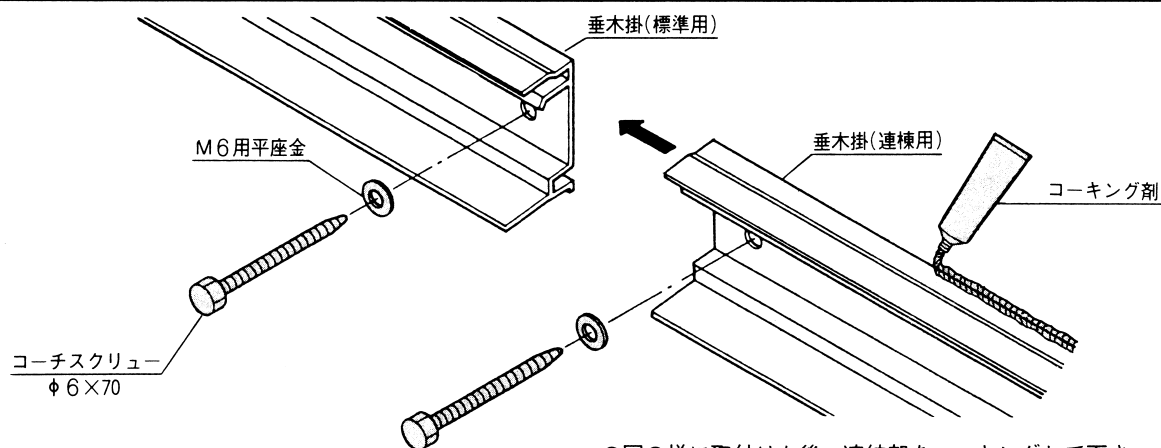


2. 桁の取付け



●図の様に取付けた後、連結部をコーキングして下さい。

3. 垂木掛の取付け



●図の様に取付けた後、連結部をコーキングして下さい。

注) 垂木掛と壁面のすきまにも必ずコーキングを施して下さい。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

E14

IA-C①